

## 社会人野球日本選手権 ヤマハ野球部 優勝のご報告と ご声援の御礼

場所は京セラドーム、サザンや小田和正のコンサートで感動をもらったこの場所で比較にならない大きな感動をヤマハ野球部がもたらしてくれました。臨場感あふれる筋書きのない試合、負ければそこで終了するトーナメントの緊張感が否が応でも応援する者を熱くさせる。

30年ほど前に2度決勝戦まで勝ち進んで、手にできなかった優勝を ついに我々の前で獲得してくれました。

5回も通うと、一端の野球評論家になってきます、ピッチャーの替え時、守備位置、送りバンドかエンドラン、次のバッターは当たっている、エースの池田が指の爪を割って本調子でないのかも、2回戦で先発した鈴木は怪我をしまして投げられない（決勝戦で当て馬でスタメン）、ナテルは精神面が弱いのでピンチには向いていない、九谷はボールの出所が見えにくいのであんな緩いボールでも抑えられる、選手情報もガセネタも含めていろんなところから入ってくる。

1回戦を除いて全てナイター、前の試合が長引いて定刻 6時には始まらない、我々応援団も家に着くのは11時、くたくたの状態、幸いほとんどが休日だったのは助かった、でも、選手、スタッフもそれは同じ、試合終了後、食事は11時頃から取って、スタッフは翌日の対戦相手のビデオを見て、先発投手を誰にするか、打線の見直し、等の作戦会議を夜を徹して毎夜行ったそうです。

決勝戦は1, 400名がスタンドで声援を送った、関西勤務のヤマハ、関連会社現役社員浜松からは5台の応援バス、我々関西ヤマハOB/OG会が59名、、、、、、大半は取引関係会社、得意先、野球部、吹奏楽関連の学校、等々 多くの人達に支えられているヤマハ（株）、そしてヤマハ野球部であることを思い知りました。そういえば相手の日本通運も重要な取引会社でありました。

我々関西ヤマハOB・OG会は地元での熱戦に延べ200名の応援団を 動員してビール片手の野球観戦ではなく力の限り吹奏楽に合わせて応援グッズを打ち鳴らし声援を送り続けました。

微力ながらも必ずや優勝に貢献できたものと信じています。

夜遅く冷え込む中、京セラドームに駆けつけていただいた方々、決勝戦はテレビの前で応援をしていただいたみなさんに、心から感謝申し上げます。

最後に開催中、試合後メールで速報を送りましたが、多くの会員の皆様に球場でねぎらいの言葉を掛けて頂き、勝利の喜びの返信を頂き、ありがとうございました。